

# イリオモテヤマネコ発見 60+3 周年 特別企画展 「イリオモテヤマネコと見守ってきた人たち」

期間：2026年1月31日(土)～2026年3月31日(火)

会場：琉球大学博物館（風樹館） 1階ホール

開館時間：10:00～16:00 休館日：木・金・日・祝祭日 ※詳しくはHPを確認

## 移動展

期間：2026年4月8日～2026年4月22日

会場：西表野生生物保護センター

主催：琉球大学博物館（風樹館）

共催：環境省

協力：沖縄トランスオーシャン航空、オールハーツ・カンパニー、琉球大学理学部

## 【入場料】

無料

## 【趣旨】

1965年にイリオモテヤマネコが発見されてから今年で60年だと言われており、その記念に特別企画展「イリオモテヤマネコと見守ってきた人たち」を開催いたします。60年記念ではありますが、実は、風樹館にはさらにその3年前に採集された子どものイリオモテヤマネコの標本があります。この標本が初めて研究者の目に触れたイリオモテヤマネコということになります。60+2年たっても西表島の人々や研究者、行政、民間企業など、様々な立場からのサポートで今でもイリオモテヤマネコが生きていける環境が保たれています。これから先もイリオモテヤマネコとその生息環境を守っていくために、イリオモテヤマネコの特徴を紹介するとともに、イリオモテヤマネコを見守ってきた人々について紹介する展示を予定しています。

## 【対象】

こども、一般、大学生

## 【展示内容】

### ① イリオモテヤマネコの特徴

- ・説明パネル（分類学的位置づけ、形態的特徴、生態・食性）
- ・糞内容物（北九州博借用予定）
- ・触れる毛皮（北九州博借用予定）

## ② イリオモテヤマネコ発見の経緯

- ・説明パネル（高良先生と親富祖先生を中心に紹介）
- ・経緯と関係する標本（タイプ標本等の風樹館資料 3 点）

## ③ イリオモテヤマネコの研究

- ・説明パネル（池原貞雄先生・伊澤先生・小林先生など琉大の研究を中心に）

## ④ イリオモテヤマネコの保全に向けた活動

- ・説明パネル（行政の活動（主に環境省））
- ・説明パネル（新民間の活動（JTA、オール・ハーツカンパニー））
- ・ヘッドレストカバー（JTA）
- ・ブラウニヤー（レプリカとパッケージ（オール・ハーツ カンパニー））

## ⑤ 沖縄子どもの国でのイリオモテヤマネコの飼育

- ・説明パネル
- ・飼育日誌（沖縄子どもの国借用予定）
- ・ケイ太の剥製（沖縄子どもの国借用予定）
- ・関連書籍

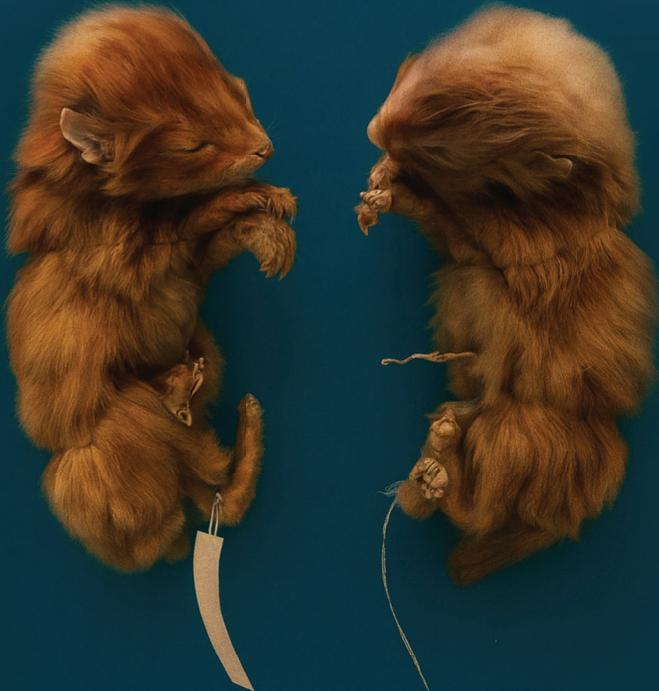
### 【学生による展示作成風景】



杉岡さんと日本トランസオーシｬン航空



喜多村さんとオールハーツ・カンパニー



発見60+3年 特別企画展

# イリオモテヤマネコと 見守ってきた人たち

はじまりの標本と人々の軌跡

2026年1月31日土～3月31日火 琉球大学博物館(風樹館)

入場無料

[開館時間] 10:00 - 16:00 [休館日] 木・金・日・祝祭日 ※ HPをご確認ください

主催:琉球大学博物館(風樹館) 共催:環境省 協力:日本トランスオーシャン航空、オールハーツ・カンパニー・琉球大学理学部